

2021-22年度 第 2650 地区 運営方針

【地区スローガン】「活力と輝き」ーロータリーの基本を大切にー

2021-22 年度の地区運営方針は「活力と輝き」のある 2650 地区、「活力と輝き」のあるクラブです。そして、クラブの運営の根幹を成すのがロータリアン一人一人です。次年度はロータリアン自らの生業を充実させ、家族と従業員を守り、足元を鍛えなおし、職業を通じて奉仕活動に邁進することです

【第 2650 地区 2021-22 年度 地区運営方針・目標】

1. 活動プログラムの継承

- ・ 佐竹年度の「伝統と革新」を大切に守り、松原年度の「ロータリーの原点に戻る」を受け継ぎ、「活力と輝き」のあるロータリー活動を目指します
- ・ ロータリーの基本理念は「奉仕と親睦」「職業分類」と「例会出席」であり、「職業奉仕」がロータリーの使命と再認識し、地区重要方針とする
- ・ ロータリー財団・米山奨学金・ロータリー希望の風奨学金への支援を継続する
- ・ 新型コロナウイルス感染防止支援とポリオ根絶の取り組みを継続する
- ・ 地区ガバナー賞は、佐竹年度および松原年度の項目を継続する

2. 青少年奉仕

- ・ COVID-19 によって孤立を深める青少年、学生、留学生（奨学生）のケアを行う
- ・ RAC（ローターアクトクラブ）や IAC（インターアクトクラブ）との交流を深め、活動支援と会員増強の方策を提案し、実施する
- ・ RAC、IAC と共に「ロータリー奉仕デー」を開催する
- ・ RYLA のリーダー、学友とロータリーメンバーの繋がりを強固にする
- ・ ロータリー青少年交換における青少年の安全確保に努める
- ・ RAC に対する国際ロータリーの変化に取り組みつつ、RAC を守る

3. 職業奉仕

- ・自らの職業を充実させ、家族と従業員を守り、足元を鍛えなおし、職業を通じて奉仕活動に邁進する
- ・「奉仕の理念」「四つのテスト」に従って自分自身を律し、自分の職業で社会に貢献し奉仕する
- ・「職業奉仕」はクラブにとって「金看板」とも言われている通り、他の奉仕団体や慈善団体と区別するロータリーの根幹理念です
- ・日本のロータリアンが大切にしてきた「職業奉仕」を尊重しつつ、RIが奨める「職業奉仕事業」を理解し、クラブでの職業奉仕活動の方向性と活動に活かす

4. 会員増強と退会防止

- ・コロナ禍における会員の退会防止及び「each one, bring one（みんなが一人を入会させよう）」の推進
- ・入会3年未満の退会防止
 - ロータリアンであることの誇り、喜びを実感するため、奉仕活動に積極的に参加
 - ロータリアンとして互いを高めあい、ともに成長できる友人を作るための交流や親睦の機会を提供する
- ・クラブ活性化のための会員増強
- ・ロータリーのDEI（多様性、公平さ、開放性）を女性会員、若者に注目して増強に努める

5. ロータリー奉仕デー

- ・各クラブが、二つ以上のロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブによって計画する
- ・地域社会との繋がりを強化する
- ・地域社会の参加者が参加できる奉仕の機会を提供する
- ・ロータリーの7番目の重点分野「環境」を奉仕活動に取り入れる
- ・地域社会でのクラブの活動を知ってもらうためメディアで周知を行う

6. ロータリー財団・米山奨学会ほかへの支援

- ・将来を託す若者のための奨学金の寄付をお願い致します
- ・ロータリー財団への支援
 - 年次寄付 会員 1 人当たり 180 ドル以上
 - ポリオプラス 会員 1 人当たり 30 ドル以上
- ・米山奨学会への支援 会員 1 人当たり 24,000 円以上
- ・ロータリー希望の風奨学金支援 会員 1 人当たり 5,000 円以上

7. 地区管理運営

- ・効率化と簡素化、そして合理化により、クラブへの経済的負担の軽減に取り組む
- ・WEB 会議（ZOOM 会議）による地区行事の開催にて安全性と効率化をはかる
- ・「地区研修・協議会」の登録料（2018-19 年度一人 8,000 円）は、前年度に引き続き無償とする

8. 新型コロナウイルス感染対策の基本的な考え方

- ・次年度ガバナー公式訪問は、全クラブに訪問する予定ですが、感染症発生状況により安全第一で開催する
- ・次年度の地区行事は、地域の感染症発生状況を見極めながら、リアル開催を中心に柔軟で多様な対応をします
- ・奉仕活動の継続や、会員同士の繋がりの基本である例会の継続を実現する一助としてオンライン環境の整備